

楓通信



ツグミ【鶇】 *Turdus naumanni eunomus*

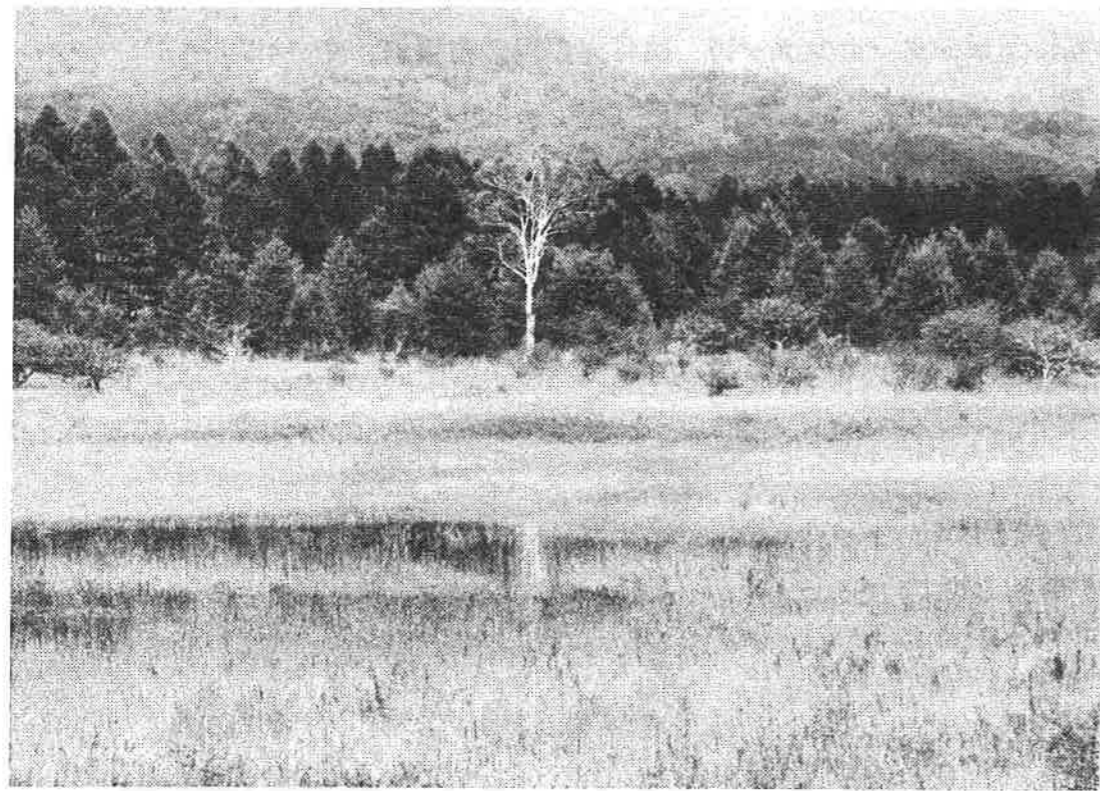
全国的に普通にみられる冬鳥ですが、戦場ヶ原の枯木に集う様子は、草地で虫をつついては、また違った印象を受けます。

極寒の雪原と化す冬の戦場ヶ原。カラ類やセキレイなど、お馴染みの鳥たちの新しい一面がみられます。

※木道が雪で埋まり見えなくなった後は、湿原内への立入りはご遠慮ください。

M. Masaki

奥日光歳時記



小田代池ができました

毎年、大雨が降った後に間合せの増える「小田代湖」ですが、9月9日前後に台風18号が降らせた大雨により、「池」くらいの大きさの水溜まりができました。しかし、今年はアザミが多く繁茂したために、貴婦人が少し映りこむほどでした。

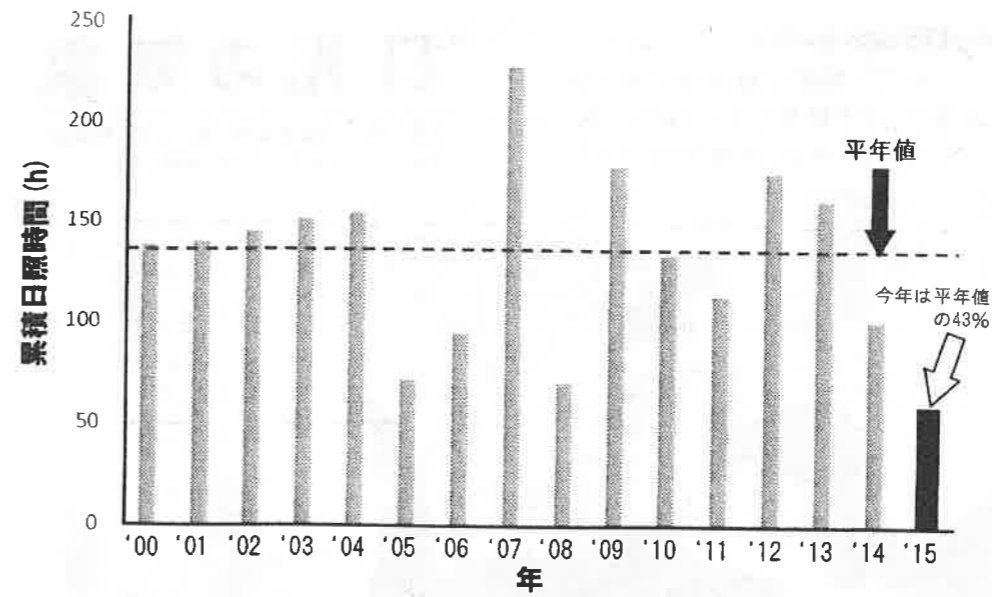


春の戻り？

少し肌寒いくらいの奥日光の夏。本来であれば春先に咲くはずのズダヤクシュが、8月の下旬に再び咲き始めたり、初夏の花であるイブキトラノオやコオニユリが、9月中旬になっても咲き続けていたりします。

さらに、楓通信印刷締切の直前に、湯ノ湖湖畔でビックリな出来事がありました。自然情報収集で歩いていたスタッフの頭上に、ピンクの花が。「この時期に何の花だろう？」とよく見てみると、なんと春の花「アズマシャクナゲ(画像)」が咲いていました。

本当に今年の奥日光は不思議な気候が続いています。



奥日光の8月12~27日の累積日照時間の経年変化

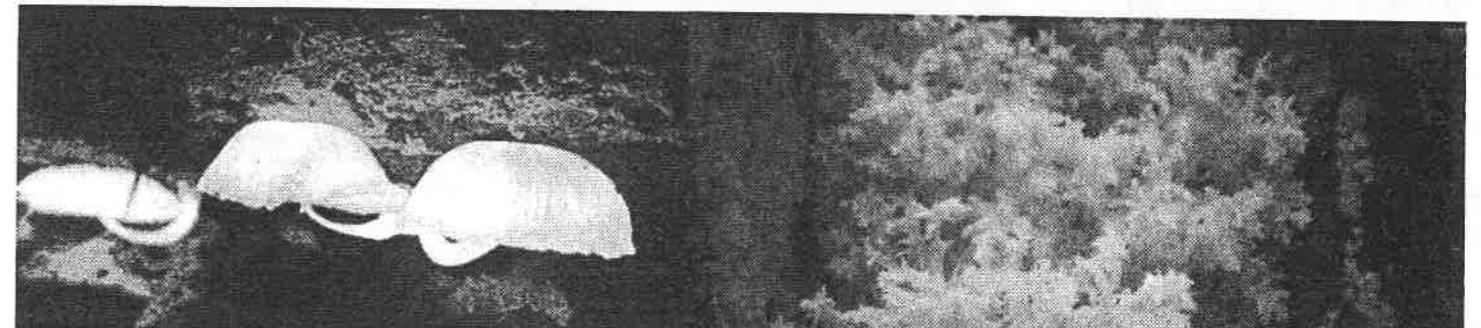
奥日光は日照不足

気象庁の発表によると、日照時間が平年値の4割程度しかなく、冷涼な日が続きました。

過ごしやすいことは良いのですが、晴れの日が少ないと光合成が減るため、秋の紅葉への影響が心配です。

この記事を書いている時点(9月上旬)も雨続きで、日照不足の傾向はしばらく続きそうです。

※グラフは、気象庁の観測地を基に作成



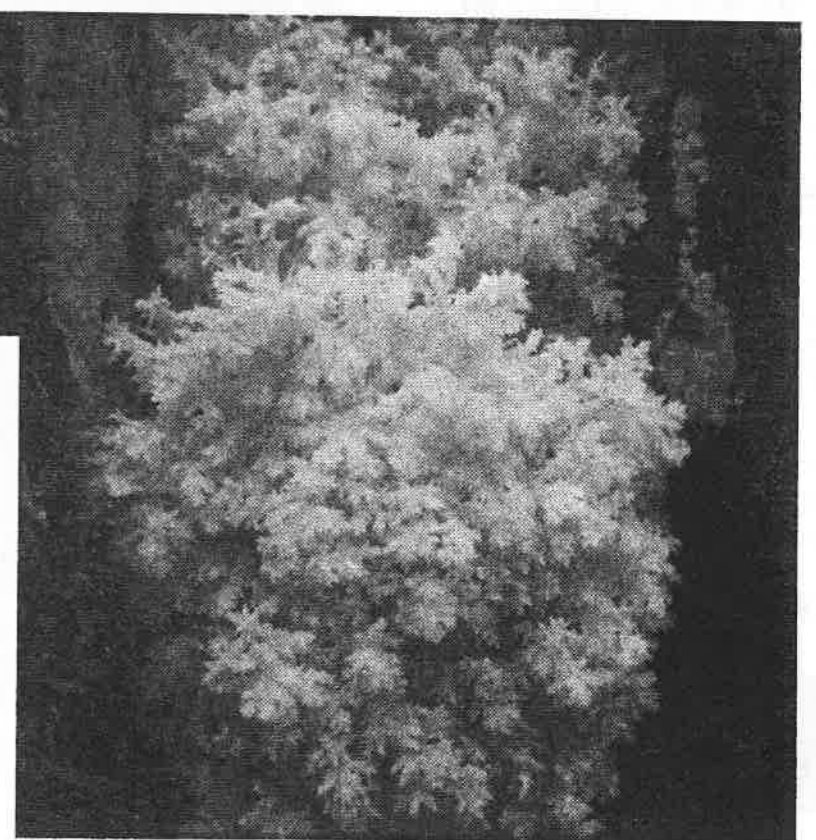
ヤコウタケのなかま(緑色に光っています)

今年のきのこは豊作だ♪

日光国立公園は、様々な地形と豊かな植生に恵まれ、多種多様なきのこが発生することで有名です。

きのこは高温や乾燥を嫌い、どちらかというとジメジメした条件を好みます。今年はたつぷりと雨が降り、倒木や土壌に水分が多く蓄えられたためか、例年になく種類も数も多くのきのこが発生しています。

光るきのこが発見されたり、準絶滅危惧種のきのこが大量発生したりと、きのこの話題に事欠きませんでした。この傾向が続けば、11月頃まで「きのこ散歩」を楽しむことができそうです。



栃木県準絶滅危惧種のサンゴハリタケ

ツクツクポーシ！ カナカナ・・・。 いつもと違う、蝉しぐれ。

奥日光で毎年聞こえてくるセミの声は、都会のものとは違います。それもそのはず、エゾハルゼミもコエゾゼミも冷涼な環境を好む山・地性のセミなのです。

しかしながら、今年は少し様相が異なるようです。街中でも聞こえてくるようなアブラゼミやヒグラシなどが、我が物顔で鳴いています。これも今夏の異常気象のせいでしょうか？

●奥日光で毎年見られるセミ

- ・エゾハルゼミ
- ・コエゾゼミ

●例年には見られないセミ

- ・アブラゼミ
- ・ミンミンゼミ
- ・ツクツクボウシ
- ・ヒグラシ

みつ

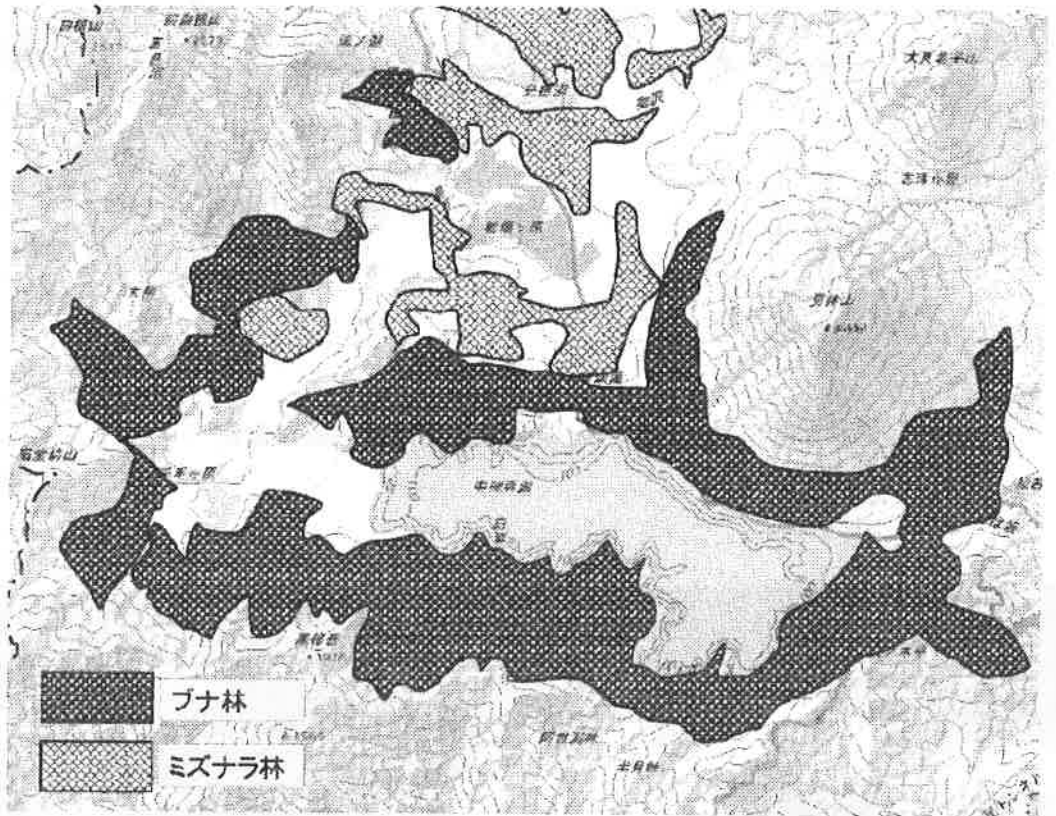
幼少期を照葉樹林で過ごした後、雑木林に親しみ里山保全に取組みながら、一時、海に出て藻場に揺られる。現在は、亜高山帯のカラマツシラカンバ林で、きのこを追いかけている。

日光の気象

気象予報士の資格を持つ当センター所長が、毎回1テーマを分かりやすく解説します。

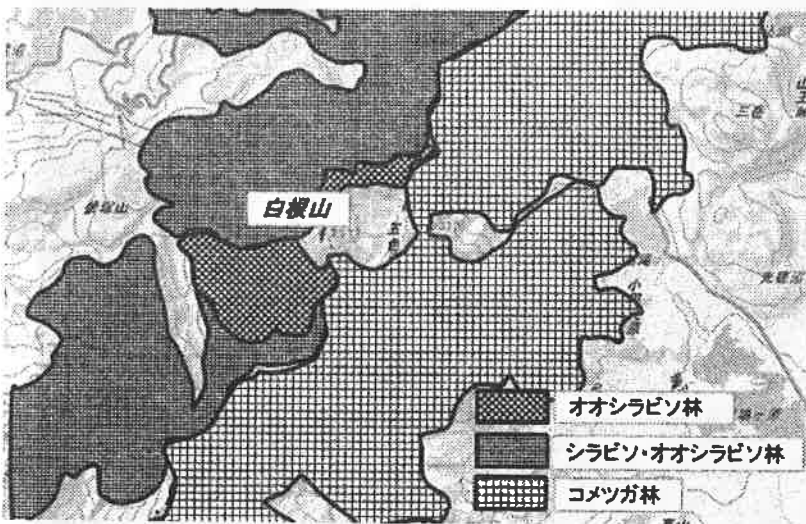
■気象の影響を受ける奥日光の森林分布

奥日光の標高はおよそ1200mから1500mで、植物の垂直分布から見ると「山地帯」になる。山地帯を代表する森林は、ブナ林やミズナラ林だ。奥日光もブナ林やミズナラ林に広く覆われているが、よく見ると特徴的な分布をしていることに気づく。ブナ林は中禅寺湖を取り囲む山々の斜面に分布するが、ミズナラ林は戦場ヶ原の湿原を取り囲む一帯に分布している。前者は急な山の斜面で比較的土壌が浅いのに対し、後者は男体山の火山噴出物が厚く堆積した、比較的平坦な地形だ。



奥日光のブナとミズナラの分布

この地形的、土壌的な環境の違いが、ブナ林とミズナラ林の分布に影響を与えていると考えられるが、もう一点、気象的な条件の違いも考えられる。戦場ヶ原一帯は冷気湖が形成されやすい地形で、冷え込みが厳しく(楓通信100号)、寒暖の差が大きい。ブナは、寒暖の差が小さく湿潤な海洋性気候を好むと言われており、このことが奥日光のブナ林とミズナラ林の分布を分けていると思われる。



白根山付近の森林分布

白根山一帯の森林も気象の影響を受けている。標高1500mを超えると、亜高山帯の常緑針葉樹林に覆われるが、その構成樹種にも大きな特徴がある。栃木県側では圧倒的にコメツガが多く、森林限界に近づくとシラビソを交えるが、群馬県側ではオオシラビソとシラビソが多い。

この違いは、冬の積雪量によるものと考えられる。日本海側により近い群馬県側は、栃木県側よりも積雪量が多い。コメツガは雪が少ない太平洋側に多く、シラビソ、特にオオシラビソは日本海側に多い。なお、飯豊山などの豪雪地帯の亜高山帯では、シラビソ、オオシラビソ林さえも成立せず、ササ原となっている。

奥日光は太平洋側気候が日本海側気候に移り変わる所と言われているが、白根山の森林分布もそのことを物語っていると言えるだろう。(辻岡)

■奥日光の気象情報

2014年の平均気温・湯元

	11月	12月
最高気温	6.5℃	-1.6℃
最低気温	0.6℃	-7.5℃

※自然公園財団日光支部公園班の記録より

2015年 日の出日の入り(宇都宮)

	11/1	12/1
日の出	6:03	6:33
日の入	16:45	16:25

※国立天文台ホームページより

天文情報

	11月	12月
新月	12日	11日
満月	26日	25日

11/13 おうし座流星群が極大
12/15 ふたご座流星群が極大

※国立天文台ホームページより

ビジターセンターから登る山

vol. 1

切込湖・刈込湖

山中の湖へ、もう行きませんか？

一年を通して人気の刈込湖。ビジターセンターでも非常にお問合わせの多いスポットです。「車で行けますか？」と聞かれることも度々ありますが、頑張って登った人にしか見られない山中の湖なのです。

今回は、そんな刈込湖ハイキングの様子をお届けします。

準備体操は念入りに！ 泉源～金精道路

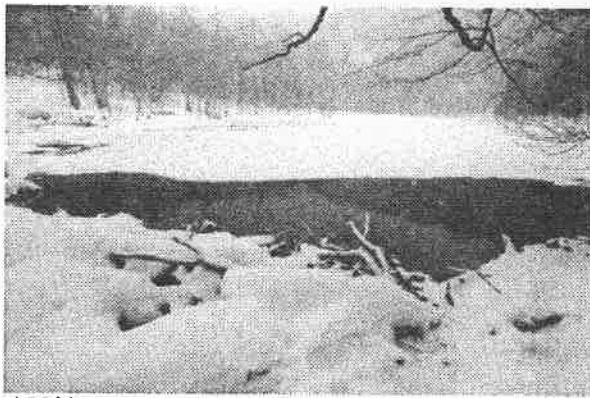
出発点は、日光湯元温泉街。駐車場が広いのでオススメです。まずは、泉源に向かいます。灰色の湿原に、硫黄の煙が立ち込める地獄絵図のような景観が見られます。湯元屈指の名所ですね。

さあ、ここからハイキングコースのスタートにして一番の難所です。実はここから金精道路までの登りが一番の急勾配なので、ここさえ乗り切れば、後は稜線歩きのような、なだらかな登りになります。湯元温泉街を下に眺めながら、どんどん高度を稼いでいきましょう。

いよいよ山に入ります 金精道路～小峠

金精道路まで上がる頃には、体も十分温まっていると思います。ここからは涼しげな森歩きになるので、ほてりを鎮めるにはもってこい！ 緩やかな登りなので、のんびりと歩いていきましょう。どんどん、山に入っていきます。

ちなみに、冬はスノーシューを使って、左手の斜面の下を歩くことができます。冬にしか行けない、素晴らしい景色が楽しめますよ。

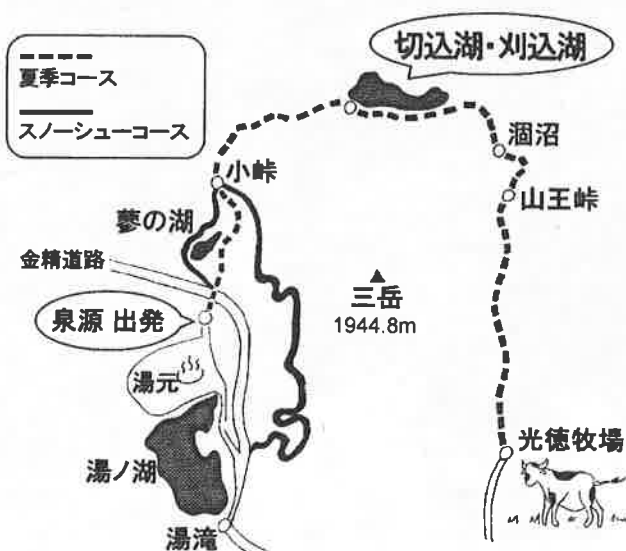


【夢の湖】春～秋は、笹に隠された秘湖。雪景色が似合います。

一休みしましょう 小峠～階段

登りつめると到着する小峠、コースの中間地点です。ベンチがあるので、休憩にもちょうどいいです。ここまでくると、周りの雰囲気はすっかり深山らしくなっています。枝葉のざわめきや地面に残る足跡から、野生生物の気配を感じることができます。

息を整えたら、再び歩き出しましょう。ここからは下り中心です。↑



森の雰囲気ガラリと変わります 階段～刈込湖

小峠からしばらく歩くと、突然階段が。ここを降りきれば、刈込湖に到着です。はやる気持ちを抑えて、足元に気をつけて降りていきましょう。特に、濡れていると大変滑りやすいので、要注意です。

この階段付近の森は、サンシローお気に入りのスポット。薄暗く静かな森に、鳥達の鳴き声が響き渡ります。シラビソの甘いにおいが漂い、とても神秘的です。

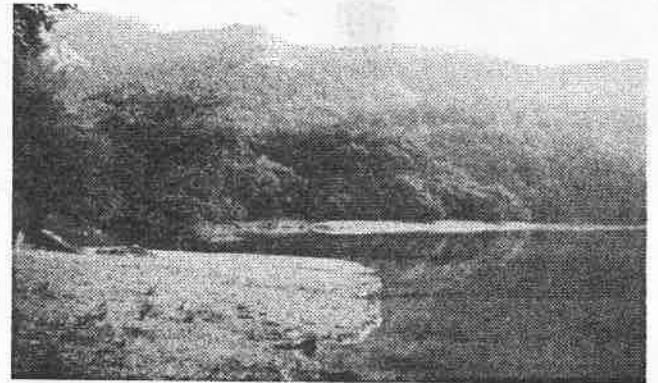


【シラビソ】灰色の幹に目玉模様、やわらかに生え揃った細い葉が美しい。

到着！ 刈込湖

木々の隙間から徐々に湖が見えてきます。「こんな山奥に、本当に湖が!？」初めて見る刈込湖はちょっとびっくりして、まるで秘境の湖を発見したかのような気分になります。

日当たりの良い湖畔は砂地で座りやすく、湖を眺めながらお弁当を食べるのにぴったりです。時間があれば、湖の周りをちょっと散歩してみてください。



【刈込湖】水量により湖畔の雰囲気が変わるので、何度行っても新鮮な気分が楽しめます。

半日でも一日でも楽しめます

帰りは、同じ道をたどれば半日で往復できます。

そのまま光徳に抜ける場合は、一日コースで計画した方が良いでしょう。濁沼という草原(笹が主ですが)を訪れることができます。こちらとても雄大な景色で、一見の価値あります。

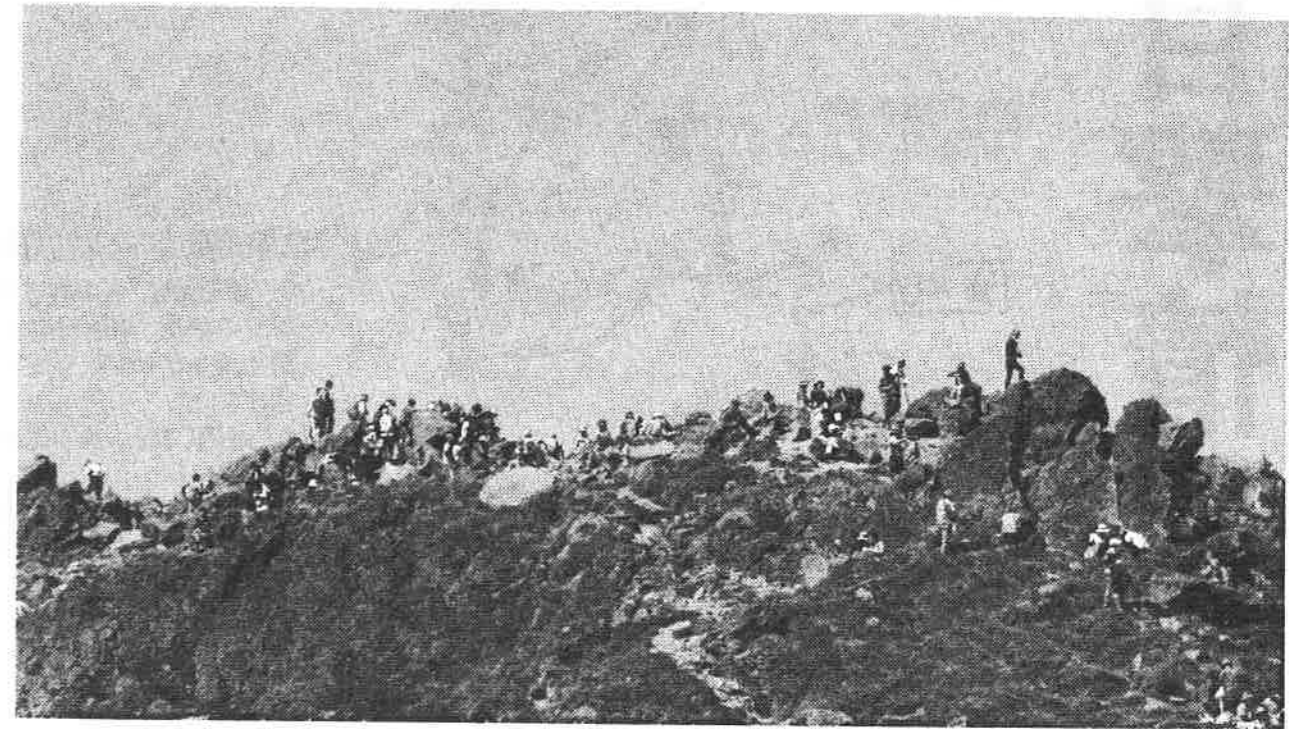
今秋は中禅寺湖や男体山、戦場ヶ原で帰らずに、湯元温泉まで足を伸ばしてみたいかがでしょうか。

※紅葉時季の道路渋滞にお気を付けください(P.12 参照)

次回は、積雪期のスノーシューコースをご紹介します。

サンシロー

ビジターセンターに勤めてもうすぐ一年。湯元に引越してから、登山にハマる。雪の日も雨の日も登る。好きな行動食は「たけのこの里」。



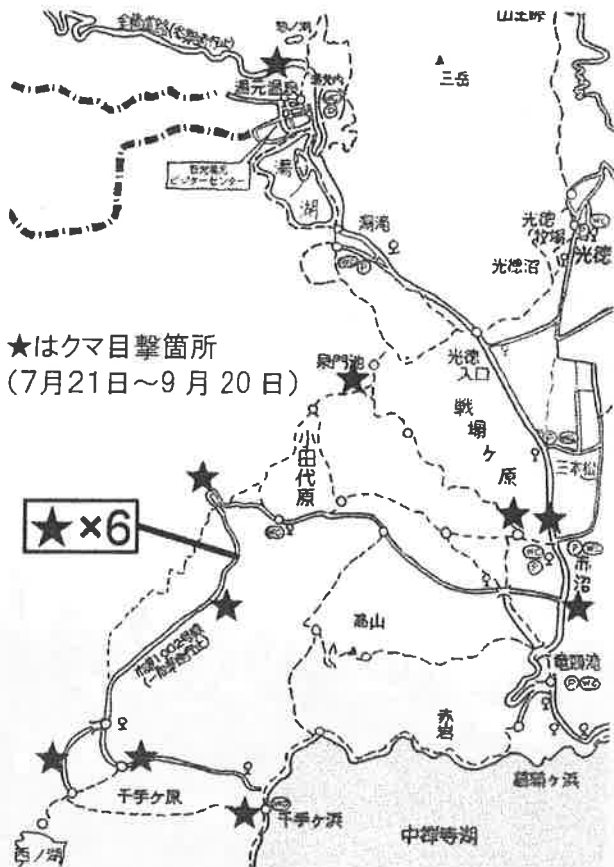
秋晴れの連休にきらめく五色沼。

一層美しくそびえる白根山は、老若男女誰もがその頂を目指す。

奥日光の風景 2015年 8-9月

クマ目撃情報

奥日光は、クマ(ツキノワグマ)の生息地です。
日光湯元ビジターセンターでは、目撃情報を収集・公開しています。



★はクマ目撃箇所
(7月21日～9月20日)

⚠ 生息範囲について

目撃回数の差は、クマの生息数以外にも、歩行者数の差なども反映されます。目撃の有無に関わらず、全域的に生息していることをご留意ください。

危険を避けるために(概略)

- ・クマ鈴を付け、人の存在を知らせる。
- ・朝夕の散歩、単独行動を避ける。
- ・誘引源となるので、ゴミを捨てない、埋めない。
- ・もし遭遇したら、静かに後退し、その場を離れる。
- ・母グマは仔を守るために特に攻撃的で危険なので、絶対に近寄らない。
- ・万一襲われたら、伏せて体を丸め、両腕で首や頭を守る。

8月の湯元行事



クマレクチャー 8/15

毛皮に触れたり、クマの食性を、骨格標本を使って、肉食動物と雑食動物の歯の違いから確認したりと、実物を使って話をしました。
子どもさんから大人の方々まで、目を輝かせながら参加してくださいました。



奥日光 森のコンサート2015 8/21

毎年恒例、大自然の中で聴く音楽「森コン」。その前身は、21年前に当センターで始まりました。今回は、同じ場所での歴史に幕を降ろす最終公演。ご挨拶の言葉、音色、お客様の拍手…全てにこのコンサートへの深い想い入れが溢れていました。



今年度除去量	
オオハンゴンソウ	850kg
フランスギク	280kg
合計	1,130kg

オオハンゴンソウ等外来植物除去作戦 8/8

晴天の意気揚々といった雰囲気の中、200名の方々にご参加いただき、日光湯元スキー場・旧葛蒲ヶ浜スキー場跡地の2カ所で除去活動を行いました。きりがいい作業の中で、ボランティアの方から「これ癖になるわあ」などのお言葉をいただき、とても嬉しい気持ちになりました。

除去活動は、継続して行うことが重要です。来年も、興味のある方々のご参加をお待ちしております。

イベントレポート Pick up

地図読み散策 @ 奥日光・湯元 7/26(日) 9:00~16:00

いつもの山登りに、楽しい要素を「ちょい足し」して見ませんか？ というのが、今回のイベントのコンセプト。予想以上の反響で定員は早々に埋まり、キャンセル待ちのお客様が出るほどの人気イベントとなりました。

午前中は屋内にて、地図の読み方やコンパスの使い方を練習した後、午後には使うマイ地図を作成しました。お昼ごはんを食べたら、散策へ出発！ マイ地図とコンパスを頼りに、地図読みの楽しさを実践の中で感じていただきました。

奥日光には百名山が二つもあり登山スポットとして有名ですが、その反面、遭難や滑落などの山岳事故も毎年発生しています。みなさんも正しい知識と技術を身につけて、安全で楽しい山登りをしてくださいね。(みつ)



ビジターセンター主催イベント

11-12
月

シーズン到来！ 冬から始めるバードウォッチング

日時：11月28日(土) 10:00~15:00

集合：日光湯元ビジターセンター

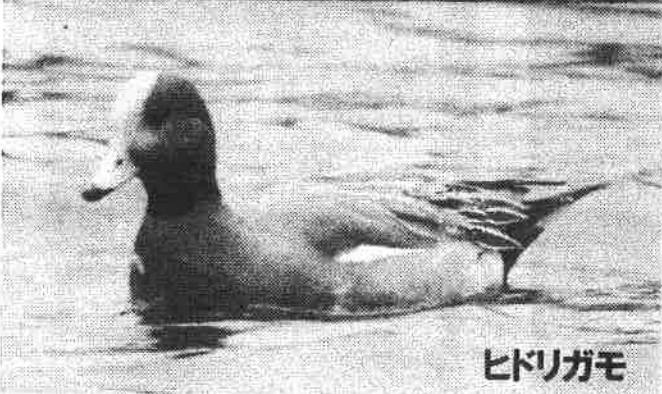
参加費：500円

定員：15名

双眼鏡レンタル有(無料)



オオアカゲラ



ヒドリガモ

担当からのおすすめ

ぜひ始めて欲しい！バードウォッチングが素晴らしい趣味である3つの理由

1、体力いらず、生涯続けられる！

体力も運動神経も必要ないので、年齢に関係なくいつでも始められ、いつまでも楽しむことができます。バードウォッチングの世界の扉は、老若男女誰にでも開かれています。

2、他のアウトドアと親和性が高い！

「ハイキングの最中に」「キャンプの朝に」「いつものお散歩で」双眼鏡があればすぐ始められます。いつものアウトドア+バードウォッチングで、フィールドに出る楽しみは2倍、いや、3倍！

3、フィールドは無限大！飽きない

近所の森や公園が、楽しい観察場になります。同じフィールドに何度も足を運び、変化を観察するのもとても楽しいですが、ゆくゆくは探鳥旅行へ！まだ見ぬ鳥を探して各地を巡る旅に、終わりはありません。休日の過ごし方がグッと充実します。

未経験の方も楽しめるように、双眼鏡の使い方からご説明します。

「珍しい鳥を見る」のではなく、「バードウォッチングの面白さをお伝えする」イベントです。お気軽にご参加ください。

森と湖の鳥を探し求める2本立て

午前「小鳥達の群れやキツツキを探して・・・
静かな冬の森歩き」

午後「愛らしいしぐさをたっぷりと
湖でのんびり水鳥鑑賞」

お問合せ・お申込み先

電話・FAXにて次の事項を下記までお知らせください。

①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号(当日連絡のつくもの)

⑦集合先までの交通手段⑧この催しの情報源⑨前・後泊の有無

一般財団法人 自然公園財団日光支部 担当：柴田 三四郎

TEL:0288-62-2321 FAX:0288-62-2378

旅のお土産に！新クラフト体験

10月開始予定

生き物はんこ作り

消しゴムやタコ糸を使って、
生き物はんこ作りをしよう。

自宅へネイチャーメール

旅の思い出をハガキに込めて、
自宅に向けて送ってみよう。

約30分 料金200円

可愛いアイツが帰ってきた!

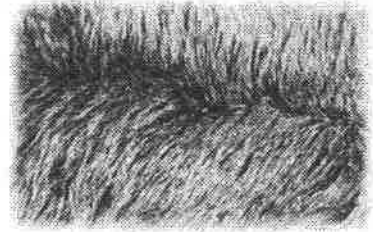
「旅館の前に珍しい動物が横たわっている」そんな連絡をいただいたのは、2年前の秋、少しずつ山の本々が色付いてきた頃でした。

急いで現場に駆けつけた私達が見たものは、ふわふわで、尻尾が平たくて、マントをつけた灰褐色の小さな体。そう、モモンガでした。見つけた時には既にかなり衰弱しており、ビジターセンターに連れて帰る頃には死んでしまいました。

本来、モモンガは夜行性で、日中は樹洞などで休息しているため、毎日奥日光にいる私達でさえ、なかなかお目にかかれない動物です。死んでしまったとはいえ、普段間近で観察できない動物を目の前にし、写真を撮ったり、足の長さを測ってみたりと、いつの間にかスタッフ一同モモンガの虜になっていました。そんな貴重なモモンガをぜひ来館者の方々にも見てほしい、触れてほしいという想いから、剥製にすることとなりました。

そして、この度生まれ変わって奥日光に帰ってきたモモンガは、現在展示スペースにて滑空ポーズを決めております。これからはビジターセンターのアイドルとして、皆様に愛される存在でい続けてほしいと思います。その愛らしい姿を、ぜひ見に来てください。

ニホンモモンガ剥製



触った方が口々に「ふわふわ～」と言う背中の毛並み。この毛皮のおかげで、寒い場所でも暮らしていけます。

ニホンモモンガ

Pteromys momonga

本州、四国、九州に分布する日本固有種で、大きさは、頭胴長 14~20cm、尾長 10~14cm、体重 150~200g。

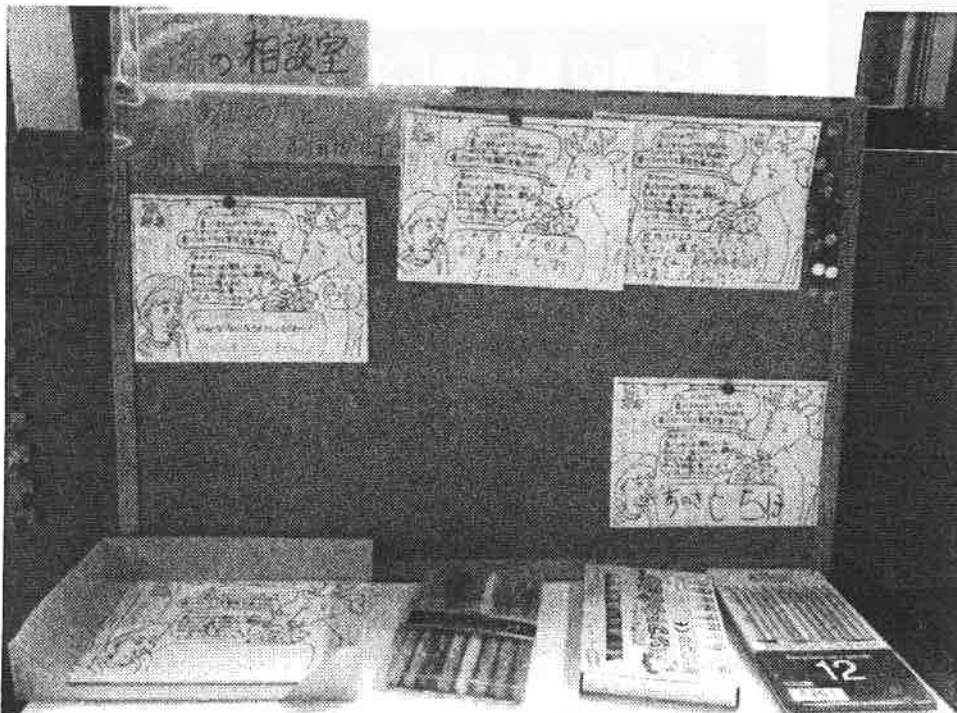
背面は灰~茶褐色、腹面は白色。飛膜を使って木々の間を滑空し、木の芽や果実などを食べる、樹上性の齧歯類です。県内では、西~北西部に生息情報がありますが、数が少なく、詳しいことはあまり分かっていません。

新常設展示紹介

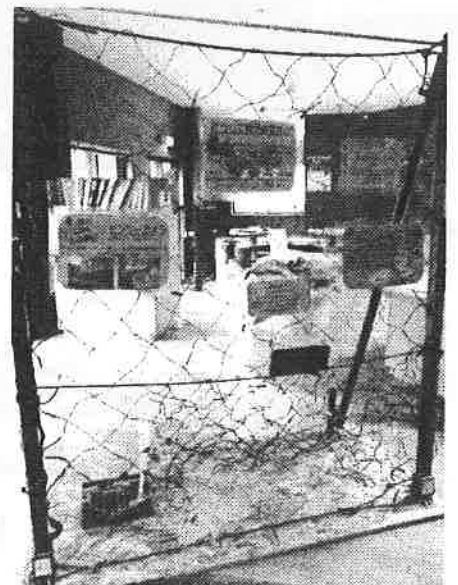
— 当センター館内に新しく設置された展示物をご紹介します

シカ侵入防止柵

湿原植生等を保全するための、シカ侵入防止柵に関する展示をリニューアルしました。



「森の相談室 あなたの声をお聞かせ下さい」と題して、ニホンジカとの共存についての、皆様のご意見を表現していただくコーナーを新設しました。難しい問題ですが、展示や他の方のお考えをご参考にして、より一層皆様ご自身の想いを深めていただければと思います。



既存の展示パネルを刷新し、より見やすく、分かりやすくご覧いただけるようになりました。展示解説で理解を深め、「森の相談室」で皆様のお考えをお聞かせください。

奥日光 クリアファイル

当センターオリジナル



奥日光

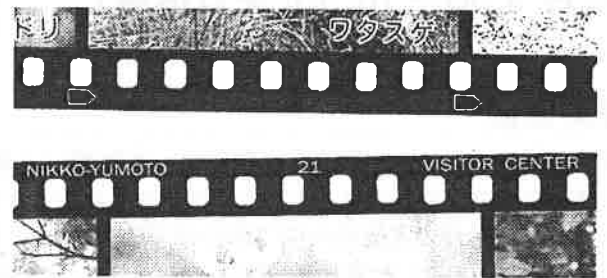


2015年秋、ビジターセンターの新たなオリジナルグッズが完成しました! 奥日光の自然をたっぷり凝縮し、1枚でその魅力が分かるクリアファイルです。

表面には、奥日光を代表する花を中心に、哺乳類や鳥類、昆虫を散りばめ、裏面には、この地域ならではの四季の風景をあしらいました。写真は、歴代のスタッフが撮りためた中から、選りすぐりの物を使用しています。

日頃から奥日光の自然を感じているスタッフ達の想いが詰まった、オリジナルクリアファイル。来館された際には、ぜひ手に取ってご覧ください。

【1枚 250円】



ワンポイント

写真を縁取るネガに秘密が!
小さくビジターセンターと入っているんです。

この他にも、便利な図鑑や
素敵なグッズを続々入荷中!

←こちらは表面の動植物写真。
裏面は四季の風景写真です。

紅葉を観る！ おすすめ散策ポイント

奥日光といえば紅葉。9月下旬から本格的に色付いていきます。時季により刻々と移ろう色彩は、何度訪れても違った表情をみせます。

その年の気候により前後はしますが、例年の見所と見頃の時季をご紹介します。

～見所のうつりかわり～

9月下旬頃

戦場ヶ原・小田代原の草紅葉
国道 120 号線(竜頭滝～赤沼)のミズナラ



10月第1週

竜頭滝のカエデ類
湯元温泉のカエデ類・ツタウルシ・カツラなど
湯ノ湖・兎島周辺のカエデ類



10月第2週

三本松・千手ヶ原のカラマツ



10月第3週

湯滝の紅葉
戦場ヶ原・小田代原のカラマツ
明智平のカエデ類
八丁出島(中禅寺湖)の紅葉



10月第4週

いろは坂の紅葉



それ以降 紅葉は東照宮方面へ移行

～見頃のめやす～

草紅葉

9月下旬～10月第2週

竜頭滝

10月上旬頃(短期間)

湯元温泉・湯ノ湖

10月第1週～中旬頃

カラマツ

10月第2週～第3週

八丁出島(中禅寺湖)

10月第3週～下旬まで

いろは坂

10月第4週～11月上旬

※ご注意 紅葉シーズンの渋滞について

9月下旬～11月初旬にかけて、奥日光といろは坂では、国道で大渋滞が発生します。特に、ピークの頃やテレビ番組で紹介された直後には、混雑が予想されます。旅行の行程には十分なゆとりを持ってお越しください。

開館日・開館時間のお知らせ

11月 9:00～16:30

12月 9:30～16:30(平日休館)

※年末年始開館【12月29日～1月3日】

森のギャラリー写真展

黒川 宏さん

撮影場所 奥日光

展示期間 10月9日～10月19日

【表紙絵の話】

草地では、ちよこちよこと歩いた後にスツと背筋を伸ばす様子が可愛らしいツグミですが、戦場ヶ原の枯木で凜とポーズを決める様子は、とてもかっこいいです。違いすぎて、少し可笑しくすら感じます。(まる)

編集後記

甚大な被害が出た台風 18 号。奥日光への影響は比較的軽微なものでしたが、木道のズレや土砂の流入、いろは坂で土砂崩れなどが発生しました◆9日夜に車中泊をし、降り続ける豪雨の中で明日が不安でしたが、翌朝 6 時にいろは坂の通行止は解除されました◆一日も早く、全ての方が日常を取り戻せますように(まる)

栃木よみうりでご紹介いただきました！

7月31日付の『栃木よみうり』にて、表紙画や挿絵を中心とした、本誌の紹介記事が掲載されました。記事の反響により、より多くの方に手に取っていただきました。今後も、より充実した誌面を目指します。

楓通信 No.119

日光湯元ビジターセンター発
-奥日光の自然情報誌-

2015年10月1日発行
次号 12月初旬 発行予定

隔月発行 一部 100円
年間購読料 1000円(送料込)

年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

日光湯元ビジターセンターの催し

11-12月

平成27年

シーズン到来!

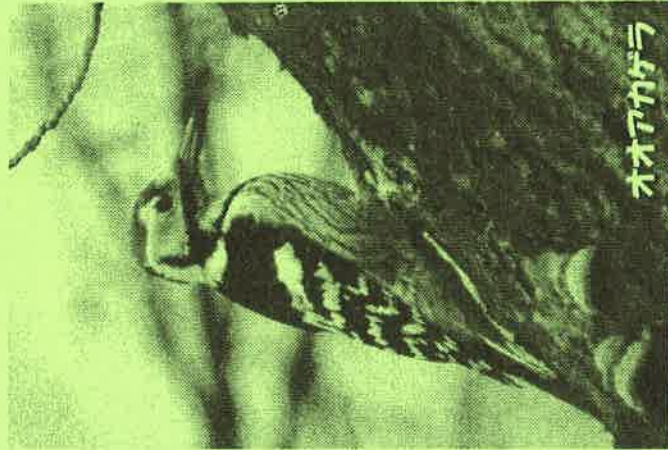
冬から始めるバードウォッチング

日時 11月28日(土) 10:00~15:00
 集合 日光湯元ビジターセンター
 参加費 500円
 定員 15名
 担当 柴田 三四郎

双眼鏡
貸出無料



コジュケカラ



オオアカゲラ



ヒドリガモ

キンクロムシロ

森と湖の鳥を探し求める2本立て

午前 小鳥達の群れやキツツキを探して…「静かな冬の森歩き」
 午後 愛らしいいぐさをたっぷりと「湖でのんびり水鳥鑑賞」

冬は鳥達を観察するベストシーズン!
 ハイキングやお散歩の途中で手軽に楽しめる
 バードウォッチングに挑戦して
 冬も奥日光を楽しんでみませんか?



旅のお土産に!

新クラフト体験

約30分 料金200円

生き物はんこ作り

消しゴムやタコ糸を使って、
 生き物はんこ作りをしよう。

自宅へネイチャーメール

旅の思い出をハガキに込めて、
 自宅に向けて送ってみよう。

開館時間・開館日

11月 9:00~16:30
 12月 9:30~16:30(平日休館)
 ※年末年始開館【12月29日~1月3日】

- 10月1日(木)より受付を開始します(先着順)。
- 当日の受付開始時間は、イベント開始30分前です。
- 荒天時は、前日に中止情報をHPに掲載します。



一般財団法人 自然公園財団日光支部
 環境省 日光湯元ビジターセンター
 TEL 0288-62-2321

霧降高原

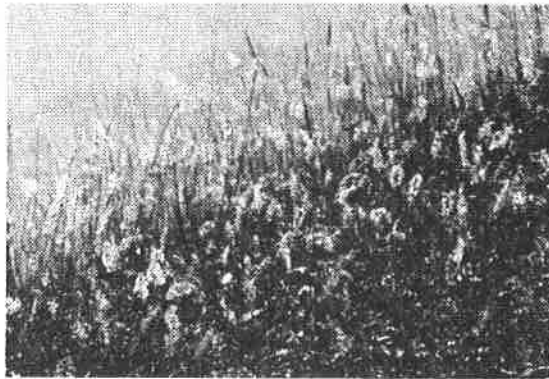
「キスゲ平」通信

秋も深まり紅葉が美しい季節となりました。今号では霧降高原の秋をお伝えしたいと思います。霧降の紅葉は交通渋滞がなくスムーズに回れるのが重要なポイント。六方沢を越え栗山方面を通れば、鬼怒川温泉にも抜けられるので、秋の日光観光計画の参考にされてはいかがでしょうか。



霧降高原の紅葉スポットは大きく分けて三ヶ所。一つは霧降の滝です。滝へのアクセスはバスの場合、日光駅前から霧降高原行または大笹牧場行に乗り、バス停「霧降の滝」で下車します。車では滝入口に無料駐車場があります。「山のレストラン」の裏手に伸びる歩道を十分ほど行くと見えてくる、落差およそ八十メートルの滝と、周りに広がる落葉樹の森は、美しいコントラストを見せてくれます。また、霧降の滝から近くの「つつじヶ丘」も紅葉スポットのひとつ。春にはトウゴクミツバツツジやヤマツツジが咲く場所として知られており、これらの紅葉が楽しめます。霧降の滝から歩いて十分程度です。

二カ所目はキスゲ平園地。日光の町並みが一望できるこの場所は、山全体の紅葉が楽しめる場所です。園地内には紅葉する植物がたくさんあり、シロヤシオやサラサドウダン、ナナカマドやヤマウルシなどの樹木の紅葉と、黄金色のカリヤスモドキが風になびく風景は、一見の価値があります。様々な植物の色付きを楽し



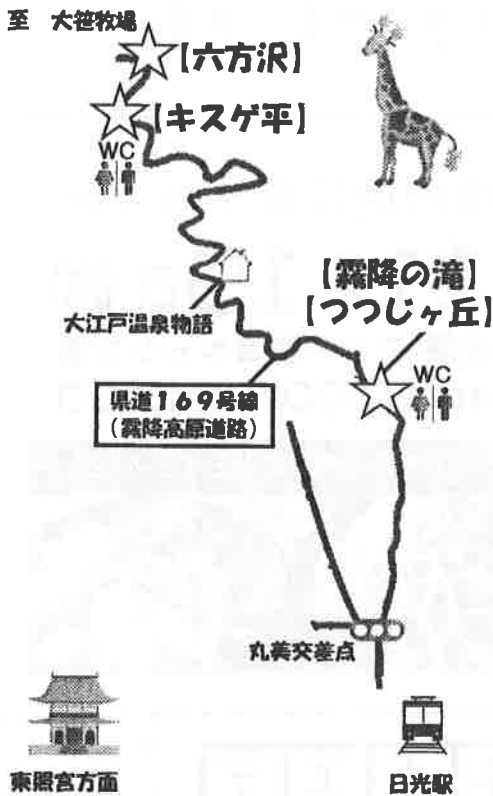
カリヤスモドキ

しみながら、園地内を散策するのもよいでしょう。バスでお越しの際は、バス停「霧降高原」で下車してください。駐車場は二十四時間開放しております。

三ヶ所目は、標高約千四百メートルの場所にある六方沢。沢に架かる高さ百三十メートル、長さ三百二十メートルの橋上から、谷が紅葉に染まってく景色が楽しめます。バスは、大笹牧場行に乗りバス停「六方沢」下車、霧降高原行では六方沢まで行かないので注意が必要です。駐車場は橋の両サイドに無料駐車場があります。

見頃の時期は、六方沢やキスゲ平園地で十月上旬から中旬、標高およそ七百メートルの霧降の滝で十月中旬から十一月上旬です。今年は春のカタクリとツツジ、夏のニッコウキスゲなど例年になく花が多い年でしたが、紅葉はどうなるでしょうか。一日の気温差が大きいほど綺麗な紅葉になると言われていますが、気温差でお体を崩さぬよう紅葉観光をお楽しみください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

紅葉スポット地図



草原を守る

秋の草刈り

キスゲ平園地は、標高千三百〜千六百メートルにかけて広がる約十ヘクタールの草原です。前号でもお伝えしましたが、ここはかつてスキー場として利用され、毎年秋に草刈りを行ってそのグレンデを維持してきました。

雨の多い日本では土地を放置しておく、やがて木が生えて森になっていきます。森になると草原は消滅してしまいますので、草原環境を守るためには草刈りや火入れ、放牧などの人為的な管理を継続していく必要があります。九州の阿蘇や長野県の霧ヶ峰、美ヶ原なども、このような人の手によって管理されている代表的な草原です。

キスゲ平も長い間、草刈りによって草原を維持してきたため、ニッコウキスゲを初めとする明るい環境を好む数多くの種類の植物が自生する草原になりました。毎年の草刈りは、自生する多くの花を楽しんでいただくためには、欠かせない管理方法です。

夏に花を咲かせた草花の種が落ちた十一月、草原の草刈りを一斉に行います。草刈りが終わると、刈られたササやカリヤスモドキの葉が木枯らしで舞い上がり、初雪も間近です。草刈りは、キスゲ平に厳しい冬の始まりを告げる晩秋の風物詩です。



維持された草原で見られるニッコウキスゲ

自然情報



すっかり肌寒くなり、生き物たちが越冬の準備をし始める時期となりました。渡り鳥たちも移動を始め、季節の移り変わりを実感します。

紅葉が徐々に始まりつつありますが、キスゲ平の花はまだまだ終わってわけではありません。オヤマボクチやリンドウなどが一年の最後を締めくくるかの様に秋の彩りを添えています。ナカマドやアオハタ、ガズミなど木の実をつける植物たちも十月いっばいまで観察できます。また、十月中旬一面に広がるカリヤスモドキが穂をつけ、綺麗な黄金色の絨毯を作り出します。

草刈りで地面が露出したキスゲ平園地を歩いてみると、無数の穴が地面に開いていることに気がきます。この穴に向けて仕掛けた自動撮影装置(センサーカメラ)による調査で、ハタネズミやアカネズミが確認されたことから、それらの穴はネズミが開けた穴だと考えられます。ネズミたちにとって隠れる場所が少なくなったこの時期は、フクロウやノスリ、ホンドキツネ等の捕食者たちにとっては好都合なのか、それらの動物に出会える機会が増える気がします。



センサーカメラに映ったホンドキツネ

イベント情報

「霧降を元気にする会」からのお知らせ

天空の収穫祭 開催します

1,200 円の前売券には、必ずもらえる新鮮特盛野菜抽選券と小倉山温泉ゆりん入浴券付!!

秋の地元食イベント

11月19日(木)

会場 ニュー霧降キャンプ場
am 10:00 ~ pm 3:00

霧降高原グルメを満喫できます お問合せ ニュー霧降キャンプ場(会場) 0288-53-4728



編集後記

雨が続き、なかなか外に出かける気が起きない毎日ですが、鳥たちが移動を始めると思うと、双眼鏡片手に色々な場所に出掛けたくになります。(八)



8×8の文字群の中から、隠された4つの植物を見つけ出せ! タテヨコナメ色んな方向から探し出してね♪

出てきた植物の頭文字を並び替えてできる単語は、下の選択肢のうちどれ?

※植物名は、標準和名かつ3文字以上です。

- ①ウグイス
- ②ヤブサメ
- ③ヤマセミ
- ④カワセミ



答えは霧降高原レストハウスで!

チ	シ	ミ	ネ	カ	エ	デ
セ	フ	ガ	セ	ヤ	ヲ	マ
カ	ン	ジ	ザ	ス	コ	ル
メ	ケ	ニ	マ	ヨ	ト	カ
グ	タ	ク	ン	ミ	ア	タ
ウ	サ	ワ	ナ	ソ	レ	ク
シ	サ	ウ	ボ	ソ	ウ	リ
ビ	ブ	ベ	エ	ユ	ギ	ケ



【発行】